

2018年1月23日

業界初<sup>(※1)</sup>、ホームエレベーターの規制緩和に対応  
**業界最長サイズ<sup>(※2)</sup>のホームエレベーター「1418フォレストV」**  
**大型3人乗りタイプを発売**  
 利用できる車いすの範囲が拡大<sup>(※3)</sup>



【ホームエレベーター「1418フォレストV」】 【ホームエレベーター「1418フォレストV」設置イメージ】

|  |                                       |
|--|---------------------------------------|
| 品名                                     | ホームエレベーター「1418フォレストV」                 |
| 駆動方式                                   | ロープ式                                  |
| 速度                                     | 20m/分                                 |
| 定員/積載                                  | 3名/200kg                              |
| ルーム内サイズ(間口×奥行き×高さ)                     | 920×1,500 <sup>(※4)</sup> ×2,000 (mm) |
| ルーム内カラー・乗り場ドアカラー                       | 1柄(チェリー柄)・7柄                          |
| 希望小売価格 <sup>(※5)</sup> (税抜・エレベーター据付費込) | 398万円～493万円                           |
| 発売日                                    | 2018年2月1日                             |

パナソニック ホームエレベーター株式会社は、業界最長サイズ<sup>(※2)</sup>ルーム内奥行き1,500mmの個人住宅用ホームエレベーター「1418フォレストV」大型3人乗りタイプを、2018年2月1日より発売します。本製品は業界で初めて<sup>(※1)</sup>ホームエレベーターの規制緩和に対応<sup>(※6)</sup>して床面積が広がったため、利用できる車いすの範囲が広がりました。

高齢化が進む中、車いすの大型化が進み、1998年に手動車いすのJISも改訂されています。しかし、ホームエレベーターに関しては、2015年12月ようやく「平成27年12月28日国土交通省告示第1274号」によって床面積に関する規制が緩和され、床面積が従来の1.1m<sup>2</sup>から1.3m<sup>2</sup>まで拡大されました。そこで、当社は業界で初めて規制緩和に対応し、建築基準法に基づく型式適合認定ならびに型式部材等製造者認証を取得した、奥行き寸法が業界最長サイズのホームエレベーターを新開発。床面積1.3m<sup>2</sup>で、テイルト式車いす<sup>(※7)</sup>も使える、大型3人乗りタイプで、エレベーター内が狭いという不満を解消します。また、上質で重厚感のあるデザインや豊富なオプションにもこだわりました。

当社は、リフォームにおすすめの押入れサイズから、大きなものや重いものなども運べるような大きなサイズまで、さまざまなサイズのホームエレベーターの品ぞろえにより、多様なライフスタイルへの貢献を目指します。

## <特長>

1. 業界初、規制緩和に対応した業界最長サイズ(ルーム内奥行き1,500mm)を実現
2. 木目柄を全面に採用し、上質で重厚感のあるエレベーター空間を演出
3. 二方向出入口や車いすガードのほか、豊富なオプションを品ぞろえ

※1,2: ホームエレベーター業界において、2018年1月23日現在 当社調べ

※3: ご利用可能な車いすのサイズやタイプは目安として参考表示しています。実際にご利用になる車いすでご確認ください。

※4: 踏込み部分を含む寸法です。なお、ルーム内奥行き最大寸法は、建築基準法上の寸法とは異なります。

※5: メーカー希望小売価格は、エレベーター本体(標準装備)と参考据付費の税抜価格を足した額です。『メーカー希望小売価格』以外に、「諸官公署等手数料」が別途必要です。増改築による建物側工事費は含まれていません。オプション装備品は含まれません。遠隔地費用は除きます。

その他、メンテナンス契約料金が継続的に必要です。

※6: 2015年12月に「平成27年12月28日国土交通省告示第1274号」により「平成12年建設省告示第1413号」が定めるホームエレベーターの規制が緩和されました。

※7: ティルト式車いすとは、背もたれのみを傾けることができるリクライニング車いすと違い、座面と背もたれを一体で傾けることができる車いすのことです。

## 【お問い合わせ先】

パナソニック ホームエレベーター株式会社 事業企画担当

電話:06-6908-1131(代表 受付9:00~17:30)

## 【特長】

### (1) 業界初、規制緩和に対応した業界最長サイズ(ルーム内奥行き1,500mm)を実現

2015年12月の「平成27年12月28日国土交通省告示第1274号」による法改正により、ホームエレベーターの規制が緩和され、床面積が広くなり、利用できる車いすの範囲が広がりました。本製品は業界で初めて規制緩和に対応し、建築基準法に基づく型式適合認定ならびに型式部材等製造者認証を取得した、業界最長サイズのルーム内奥行き最大1,500mmを実現したホームエレベーターで、ティルト式車いすにも利用できる大型3人乗りタイプです。これにより、介助者が同乗しない場合には、おおよそ全幅700mm×全長1,370mm以下のサイズのティルト式車いす、または電動式・自走式車いすを利用いただけます。介助者が同乗する場合は、おおよそ全幅700mm×全長1,270mm以下の自走式・介助式車いすを利用いただけます。また、パナソニック エイジフリー株式会社で発売・レンタルしている「電動ケアベッド」と「車いす」を融合させた離床アシストロボット「リシヨネPlus」の電動リクライニング車いすも乗せられる広さです。



### (2) 木目柄を全面に採用し、上質で重厚感のあるエレベーター空間を演出

ルーム内カラーは、極上の木味感を再現したパナソニックの内装建材「VERITIS(ベリティス)」のチェリー柄を全面に採用し、森林にいるような癒しの空間を演出。乗り場ドアカラーも「VERITIS(ベリティス)」を含む、各階選べる7柄を品ぞろえしました。上質なインテリア空間との調和が可能です。

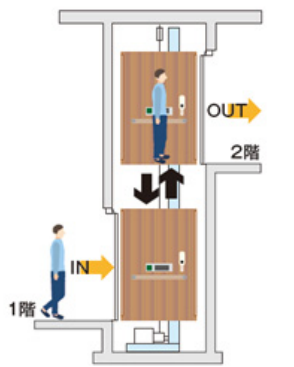


### (3) 二方向出入口や車いすガードのほか、豊富なオプションを品ぞろえ

二方向出入口、車いすガード、音声アナウンス、ルームミラー「ナノイー」発生装置のほか、防火区画に対応した遮煙性能「けむりシャット」遮炎性能「鋼板製難燃戸」「火災時管制運転装置」など豊富なオプションを品ぞろえしました。

二方向出入口の場合、間取りプランによって、ルーム内の前後に出入口を設けることができます。例えば、家の間取りにあわせて、1階は正面から乗り、2階は背面から乗り降りすることができます。また、車いすをご利用される方向に「車いすガード」もご用意。これにより、車いすの車輪やステップなどでエレベーターの壁を傷つけることを防ぎます。

#### ■二方向出入口 オプション



注) 同一階での二方向(通路として)や直角二方向には出入りできません。

#### ■車いすガード オプション

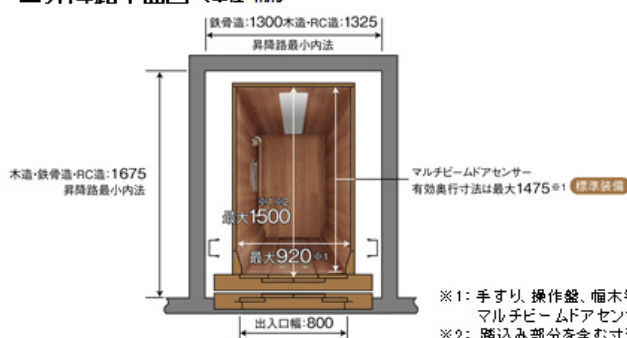


注) 写真はイメージです。

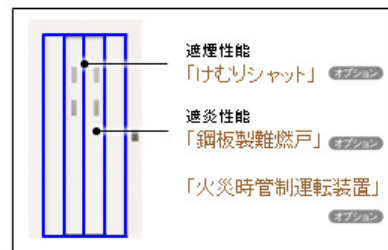
#### ■その他オプション



#### ■昇降路平面図 (単位:mm)



※1: 手すり、操作盤、幅木等は考慮しない最大寸法です。  
マルチビームドアセンサーにより、ルーム内有効奥行寸法は最大1475mmとなります。  
※2: 踏み部分を含む寸法です。  
注) ビット内も上記の昇降路最小内法が必要です。



以上

プレスリリースの内容は発表時のものです。

商品の販売終了や、組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。